

陣見アマチュア無線クラブの経緯及び概要

1967年(S.42)～1968年(S.43)にかけて、旧児玉町内に在住でアマチュア無線局を開設している仲間と、連絡を取り合い

集合場所は、何処の所だったか思い出せませんが？皆さんが集まりクラブの話になりその時に、本庄市にはクラブが在るのだから児玉町にもクラブを創ってはどうかと言う話になり、その時結成されたクラブが現在の陣見アマチュア無線クラブ“JA1ZIH”

陣見アマチュア無線クラブの名称が生まれた経緯は、旧児玉町にある標高531メートルの陣見山からとりました。

当時のクラブの規約ではクラブ員は児玉町内に在住となっていたので、なおさら児玉町内で一番標高のある陣見山の陣見を取ったと思います、また歴史的にも重要な山であり標高531メートルの山頂よりその昔、前田利家、上杉景勝の連合軍が八幡山城(雉ヶ岡城)の陣地を見下ろした山であり鎌倉街道おも見下ろせる山ですアマチュア無線をするにも適している山ですので、参加者全員一致でこの名称が決まりました

陣見アマチュア無線クラブJA1ZIHは1968年(S.43)中に開局1969年発売のコールブック(現在はJARL局名録で現在はJARL会員のみ記載される)にクラブの設置場所及び代表者名が載っていますから、コールブック発売約1年前にはクラブは活躍していたこととなります。

代表者であった私が浦和の埼玉会館会議室に、数回埼玉支部の会議に出席した折、本庄AMCのJA1MKK局も出席していました。この頃は陣見アマチュア無線クラブも地域クラブとして登録出来ていたと思います会議にも出ていますから

また当事は、アワードブームであり陣見クラブも会員内ではアワードを発行してはどうかという意見があり、いくつかの案件があがりその中で私が覚えて要るのは、旧児玉町は国道(R254)が通っているの、児玉町内で運用する当クラブ員のQSLカード1枚と(R254)が通過する町の9ヶ所を加えて全部で10枚QSLを集めるというアワードをCQ誌のアワード欄に載せて頂いた事を、覚えています。

其の後、数年が過ぎクラブ内の学生さんの就職や会社員の転勤などでクラブ員の数が減りクラブ運営が出来ず自然消滅状態になりました

当時クラブ員は少なく、確かJARLの会費が集まらず脱会したと思います

数十年が経ち、私のアマチュア無線のアクティビティがあがり毎日出ていたときに、ローカル数人が遊びにきてローカル仲間で宴会をしようとなりました。

その時、昔こんなクラブが児玉町にあり現在は休眠中と言うと、また陣見アマチュア無線のコールサインを復活したいという事になりJARL事務局に問い合わせをし、当時の書類を見つかりして、開局にこぎ着けました

開局に際し当時のクラブ員数人に開局の同意を取りまして現在運用中の陣見アマチュア無線は再開局出来たわけです、また当時のクラブ員定款は児玉町内在中となっていた様に思います。

開局当時のメンバー順不動

JA1WKI JA1TWK JH1BZP JH1CRS JH1TAO JH1TAI
JH1LFU JH1HGP JH1NDM あと数局いたように思います

追記

1969年(S.44) 児玉町非常アマチュア無線結成

1970年(S.45) 非常通信訓練を行い、通信たより発刊 No.1、No.2 ～～

2010/07/08